

尊厳をもってその人らしく生きていく社会を目指して

デイケアニュース



- message : 岡野英樹大会長
- report : 第50回全国デイ・ケア研究大会2025 in 川越
- event preview : リハビリテーション・ケア合同研究大会大阪2025
- voice : 活動と参加してみた！ 認定デイ・ケアマスターの声
- new series : すぽっと・らいと～あなたの職場のプロフェッショナル～
- 会員施設紹介 : 早稲田クリニック



【協会HP】
<https://day-care.jp/>



一般社団法人全国デイ・ケア協会
Japan Association for Day Care

message

安心して暮らし続けられる地域のために、
デイ・ケアの果たすべき役割はますます重要です。

第50回全国デイ・ケア研究大会2025 in 川越 大会長

岡野 英樹



50回目の記念すべき全国デイ・ケア研究大会を成功裡に開催することができ、参加いただいた皆様にまずもって感謝申し上げます。また、川越の地で4度目となる大会を行うことができましたことを光栄に思います。

今大会のテーマは、斎藤名誉大会長の発案で「JUST KEEP GOING! next50th～前進あるのみ～」としました。激甚災害や新興感染症の蔓延もさることながら、物価高騰や人材流出など、医療・介護の現場では想定を上回る出来事が多々ありますが、利用される方々がその人らしく、またご家族と安心して暮らし続けられるよう、私たちは地域のために立ち止まらず、仲間とともに前へ進み続けよう…そんな私たちの思いがテーマに込められています。制度や環境が目まぐるしく変化する中でも、デイ・ケアは地域の拠点機能として、果たすべき役割はますます重要になり、また期待されています。そんな中、私たちの現場にはたくさんの知恵と工夫、そして情熱があり、2日間の大会で参加された皆様がその実践の数々を分かち合い、新しい学びと“つながり”が生まれたのではないでしょうか。

前進するためにいま何を考えるべきかという思いの中、個人的にはもう一つ「温故知新」をテーマとして大会長講演の副題を「前進するために私たちはどう対応するか」としました。古き(かつて大事にされていたことや、質の高いサービスの押さえどころ)をいま一度確認し、新しき(これから)を考えることが大事ではないかというイメージです。大会プログラムの構成を見ていただければ、そんな思いにもお気づきになる方がいらっしゃるのではないかでしょうか。

まず第50回の特別企画として、長くこの協会を牽引してきた斎藤名誉大会長と井上崇氏の対談では、デイ・ケアや協会の歴史を紐解き、これからのデイ・ケアのあるべき姿を指南いただきました。講演Ⅰでは、私個人にこの協会の事業で数々の教えをいたいた長谷川幹先生に、当事者の主体性を大事にされ長く研究された実践をお話いただきました。講演Ⅱでは、これまで目からウロコの認知症ケアを教えていたいた田中志子先生に、介護現場での認知症の方へのかかわり方を参加された皆様にもお話しいただきたいとお願いし、お話しいただきました。シンポジウムⅠでは、地域共生社会の実現に向けて、誰もが自分らしさを感じながら暮らせる社会を目指すための実践を演者の皆様にお話しいただき、特別提言として当会顧問の浜村明徳先生から地域リハの実践を通したデイ・ケアのあるべき姿についてメッセージをいただきました。最後のシンポジウムⅡでは、大震災の被災当事者でありながら支援活動に献身的に取り組まれた3名の演者より、「震災対応から見るデイ・ケアの役割」についてご報告いただき、栗原正紀先生より特別提言としてメッセージをいただきました。お忙しいところ登壇いただいた皆様に心から御礼申し上げます。

最後になりますが、尽力いただいた協会関係者や協賛いただいた企業の皆様、そして大会企画から準備、そして当日の運営まで真心を込めて対応していただいたかすみケアグループの皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

information

知的好奇心は止まらない。止めてはいけない。

JADCが贈りする研修会。今年度後半も充実の研修会スケジュール。

当会では様々な研修会を企画しております。下記スケジュールをご確認の上、ご希望の研修会にお申し込みください。

JADC EVENT SCHEDULE

	開催日	研修会	開催地・開催方法
10月	10日(金)～12日(日)	在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース(第2クール)	オンライン開催
	18日(土)～19日(日)	戦略的事業運営セミナー ～選ばれ続けるデイケアへ! 実践で学ぶ事業強化のすべて～	愛知県名古屋市 (ハイブリッド開催)
11月	21日(金)～22日(土)	リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪 2025	マイドームおおさか
	29日(土)	リハマネジメント研修会 ～リハマネ加算(ハ)の取り組みに向けたヒント、準備から実践まで～	オンライン開催
12月	5日(金)～7日(日)	在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース(第3クール)	オンライン開催
	20日(土)～21日(日)	生活行為向上リハビリテーション研修会	
1月	16日(金)～18日(日)	在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース(第4クール)	オンライン開催
	24日(土)	明日から使える! 初めての通所リハ実践研修会(応用編) ～実例に学ぶ! 通所リハの応用力と実践力～	
2月	7日(土)	状態別対応セミナー中重度者編 ～介助で終わらせない! “できる”への支援～	オンライン開催
	21日(土)～22日(日)	生活行為向上リハビリテーション研修会	
3月	7日(土)～8日(日)	在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース(第5クール)	東京都千代田区

※最新情報は当会ホームページをご参照ください

公式LINEアカウントを開設しました。

当会ではLINE公式アカウントを開設しました。
本アカウントでは、研修会情報や様々なお知らせ等を不定期に発信してまいります。
是非とも友だち登録をよろしくお願いいたします。



要注目

会員限定

ON DEMAND

会員向け無料教育セミナー定期配信中

全国デイ・ケア協会では、会員限定にオンデマンド配信による教育セミナーを開催しています。第23弾は「新たな受け皿としての共生型サービスとは」を開催しました。視聴者アンケートからは大変好評をいただいています。本セミナーが会員の皆様のお役に立てますと幸いです。

視聴をご希望の方はホームページよりお申込みください

会員向け無料教育セミナー 配信スケジュール

令和7年

8～9月配信

栄養とリハビリテーション

11～12月配信

痙縮に対する包括的アプローチ



今後も
様々なテーマを
企画検討中です!





第50回 全国ディ・ケア研究大会 2025 in 川越

2025 6/27(金)~28(土)



令和7年6月27日（金）～28日（土）に埼玉県川越市において、『第50回全国ディ・ケア研究大会2025in 川越』が開催された。今大会は第50回記念大会であったが、会場となった川越プリンスホテルはこれまで全国ディ・ケア研究大会の会場となったこともあり、記念大会にふさわしい場所であることを実感させた。また、天候にも恵まれ、診療報酬・介護報酬・障害福祉のトリプル改定から1年経過した各事業所の取り組み成果を議論するにふさわしい熱気に包まれた。

本大会は“JUST KEEP GOING! next50th (前進あるのみ!)”をテーマとし、当協会の成り立ちから現在のディ・ケアに求められるもの、さらには今後の地域共生社会の中でのディ・ケアの役割について様々な形で共有する機会となった。

岡野大会長（当協会理事、医療法人真正会）の大会長講演に始まり、斎藤正身名誉大会長（当協会名誉会長）と井上崇氏（介護老人保健施設伸寿苑施設長代理）の第50回大会記念特別対談が行われた。この記念対談ではディ・ケアの歴史から今求められている役割、これからもディ・ケアが社会のニーズに応え続けるための国への提言と、幅広い内容で行われた。

その後の特別講演Ⅰでは長谷川幹氏（当協会顧問、世田谷公園前クリニック名誉院長）から受動的になりやすいディ・ケア利用において、能動的に転換させていくための経験や知見を講義していただいた。また特別講演Ⅱの田中志子氏（医療法人大誠会・社会福祉法人久仁会理事長）からも要介護者の個性に応じたディ・ケア、ディ・サービスの選択支援というテーマで、利用者が主体的にサービスを選択することの大切さを講演していただいた。

2日目はシンポジウム中心のスケジュールとなり、地域共生社会の実現に向けた様々なサービス、行政の取り組みについての紹介や、東日本大震災・熊本地震・能登半島地震での実際の現場状況や支援活動報告など、ディ・ケアが通常業務以外に取り組まなければならない役割について知見を得る場として多くの聴講者が集まった。また、当協会が認定するディ・ケアマスターと在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース修了者によるシンポジウムも行われ、多くの聴講者にとってより現場感のある報告を学ぶ機会となったのではないかと思う。

これら以外にも多くの一般演題が口述発表・ポスター発表で行われ、会場に収まらないほどの聴講者を集め白熱した質疑応答が行われた。令和6年度介護報酬改定から一年が経過し、共生型サービス開始への取り組みや退院時共同指導を実施することでのメリットや工夫、栄養・口腔機能への取り組み実践報告など、内容も多岐にわたり、自身の職場に持ちかえり参考にしたいと思える発表が多かった。

本大会は報酬改定から一定期間を経ての研究大会ということもあり、多くの参加者が学びの意識を強く持った大会であった。その為、各会場において熱い議論が行われることとなり、ディ・ケアを一步先へ導くきっかけになったのではないかと感じている。



第52回 全国デイ・ケア 研究大会2026

in 名古屋・愛知

● Let's Create!

—リエゾンで紡ぐ明日のデイ・ケア—

テーマ

会期

2026.5.15(金)・16(土)

会場

ウインクあいち

(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

大会長

岡田 温

(医療法人財団善常会 理事長)

主催／一般社団法人 全国デイ・ケア協会

大会ホームページ <https://www.k-gakkai.jp/daycare2026/>



主管
(大会事務局)

医療法人財団善常会
〒457-0046 名古屋市南区松池町1丁目11番地
TEL:052-811-9101(代表) FAX:052-811-9390
E-mail:daycare2026@zenjokai.jp

運営事務局

株式会社コムラ「第52回全国デイ・ケア研究大会2026」係
〒501-2517 岐阜県岐阜市三輪ぶりんとびあ3
TEL:058-229-5858(代表) FAX:058-229-6001
E-mail:daycare2026-office@kohmura.co.jp



Japan Association for Day Care

リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪 2025

リハビリテーション・ケア合同研究大会大阪2025の開催まで間もなくとなりました。今回は大阪で開催されます。本大会も活発な意見交換が交わされると思うと、今から楽しみです。さて、当会のシンポジウムは、「現場から見える医療・介護連携の課題と展望～切れ目ないリハ・ケアを実現するために～」をテーマに企画しました。昨今の報酬改定で強化されている医療・介護連携の課題を示しつつ、スムーズな連携を進めるヒントになればと考え、準備を進めております。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

テーマ 動いてナシボ!動かしてナシボ!

—「動く」が支える 人・地域・日本—

会期 2025年11月21日(金)～22日(土)

会場 マイドームおおさか

大会長 島田 永和 (はあとふるグループ 代表)

大会顧問 宮井 一郎 (社会医療法人大道会 副理事長・森之宮病院 院長)



当会シンポジウム

現場から見える医療・介護連携の課題と展望
～切れ目ないリハ・ケアを実現するために～

令和6年度介護報酬改定において、通所リハビリテーションに退院時共同指導加算が新設されました。この加算の導入により、医療機関は退院後に必要な介護サービスを見据え、通所リハビリテーション事業所は積極的に退院前カンファレンスに参加することが期待されました。

しかし、介護報酬改定から1年以上が経過した現在でも、医療機関が退院前カンファレンスを開催しても介護サービス事業所を招集することは少なく、同一法人内であっても、連携が難しいという声がきこえます。また、通所リハビリテーション事業所においても、業務の都合で退院前カンファレンスへの参加が難しい、あるいは医療機関からの招集自体が少ないといった課題が指摘されています。

本シンポジウムでは、令和6年度介護報酬改定における医療・介護の連携強化の内容を振り返るとともに、回復期リハビリテーション病棟の視点から医療機関、通所リハビリテーションの視点から介護サービス事業所の立場で、退院前カンファレンスを通じた連携の現状と課題を報告します。そして、スムーズな連携に向けた具体的な方策を検討してまいります。



<https://www.facebook.com/daycare.jp/>



活動 × 参加

今回の活動と参加してみた!には「第50回全国デイ・ケア研究大会2025in川越」「明日から使える!初めての通所リハ実践研修会(基本編)」にご参加された2名にご登場いただきました。様々な場で多くの発見や学びが感じられています。熱い想いをご一読ください。



活動と
参加してみた!

④ 第50回全国デイ・ケア研究大会2025in川越

このたび、「第50回全国デイ・ケア研究大会2025 in 川越」に参加させていただき、非常に有意義な時間を過ごすことができました。全国の実践報告や先進的な取り組みに触れ、改めてデイ・ケアの果たす役割の大きさを実感しました。

私自身2021年に在宅リハEGコースを受講し、認定デイ・ケアマスターを取得しました。今回、協会企画シンポジウムでは、その修了者の実践報告があり、日々現場で取り組んでいることや新たな気づきなど参考になり、当施設で活かせる多くの学びを得ることができました。また、1日目の研究大会終了後には、懇親会が開催され、EGコース受講者や他施設の方との交流を

通じて、共通する課題や工夫を共有できたことも大きな収穫でした。

今大会で得た知見を現場で活かし、より質の高いサービス提供を目指していくとともに、今後も当施設での取り組みを全国に向けて発信していくたいと思います。大会運営に携わってくださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。

通所リハビリテーションセンター
清雅苑
理学療法士 辻本 真也



活動と
参加してみた!

⑤ 明日から使える!初めての通所リハ実践研修会(基本編)

私は約3年間、通所リハビリテーションと訪問リハビリテーションの兼務を経て2025年6月から通所リハビリテーションの専従となりました。そのため、これまで以上に通所リハビリテーションの役割について理解を深めたいと考え、今回の研修に参加しました。

研修では、介護保険下でのサービスの概要や役割に加え、多職種での支援や社会参加への取り組みなどについて学ぶことができました。

また、講師の先生方の事業所での具体的な実践例を通して、社会参加へのあり方について新たな気づきを得ることができました。

グループワークでは、全国の受講者の方々と意見交換を行い、各施設での工夫や課題の共有ができたことは非常に有意義でした。また、

講師の先生方に直接質問ができたことも貴重な学びとなりました。

今回の研修を通じて、通所リハビリテーション以外のサービスの種類や役割についても理解が深まり、利用者の状態低下に応じたサービスの選択肢をケアマネジャーへ提案する際に活かしていくけると感じました。

今後は利用者の希望を深掘りし、社会参加につながる機能訓練や環境整備、地域資源の活用などを組み合わせて提案できるよう、努めたいと思います。

このたびは学びと気づきの機会をいただき、ありがとうございました。

八尾はあとふる病院 通所リハビリテーション
理学療法士 河内 真希

当会ホームページの会員ページをリニューアル予定!

旧会員ページ

- 各種資料ダウンロード
- 認定デイ・ケアマスター申請書類
- 研究大会抄録集

新会員ページ /

- 各種資料ダウンロード
- 研究大会抄録集
- 調査関係
- 会員事業所の取り組み紹介 **(NEW)**
- リハビリテーションマネジメント **(NEW)**

新しいコンテンツが盛りだくさん!

各種資料 ダウンロード

総会議案書や認定デイ・ケアマスター申請資料など、会員の皆様に役立つ資料を多数ご用意しています。さらに、通所リハ運営に必要な申請書類について書類のリストやひな形を掲載する予定です。

会員事業所の 取り組み紹介

会員事業所の取り組みについて、事業所規模や加算・職種等様々な視点からご紹介いたします。また、会員事業所のLIFE利活用状況についても取り上げる予定です。



リハビリテーション マネジメント

リハビリテーションマネジメントとは、利用者それぞれの状態や目標に併せて最適なリハビリテーション計画を立て、効果的に進めていくための取り組みです。こちらではリハビリテーションマネジメントに対する考え方や具体的な内容について、SPDCAに沿って詳しくご紹介いたします。



上記は会員限定のコンテンツになります。会員の皆様は、リニューアル次第ご案内いたしますので是非ご覧ください。非会員の皆様は、これを機に是非入会をご検討ください!

認定デイ・ケアマスターの声



Master's Voice

小川 あづさ (主任介護支援専門員)

介護老人保健施設アンジェロ



現在私は、介護福祉士、支援相談員、主任介護支援専門員として、デイケア、ショートステイ、入所といった施設全般の管理運営に携わっています。認定デイ・ケアマスターとして、介護の立場から、リハビリテーションの本質と地域包括ケアの実現に向けた支援に力を注いでいます。

介護職は、利用者や家族に最も近い存在です。そのため、日々のかかわりの中で小さな変化に気づき、医療やリハビリテーション専門職とつなぐ役割が求められています。リハビリはリハビリ室で完結するものではなく、「生活」の中で実行され、継続されてこそ意味を持ちます。私が携わるデイケアは、老健施設に併設されており、この環境の大きな強みは、ショートステイ・入所との連携も密に取れる点にあります。必要時には迅速な医療的対応が可能であり、利用者の状態変化にも柔軟に対応できる体制が整っています。こうした切れ目のない支援をいつでもどこでも提供できるよう、介護と医療、介護とリハビリ、双方に不足しがちな視点をつなぐ“共有言語を持つ存在”として、日々多職種との対話を重ね、支援の質の向上に取り組んでいます。

その実践の基礎には、EGコースで学んだ多くの専門的知識と、共に励んだ仲間たちの存在があります。講義を通して得た知見はもちろん、全国の仲間とのつながりは、実践の中で迷ったときの支えとなり、今も心強い財産です。

さらに、施設外での地域活動にも力を入れています。地域のラジオ体操に出向くことから始まり、住民主体のサロン活動の立ち上げ・支援、ボランティア活動のコーディネートなど、住民自身が健康と生活の質を高められるような取り組みを推進しています。地域に根差した老健として、これらの地域活動に多職種で関わることが今後の課題と考えています。

まだまだ役不足のところもありますが、今後も施設と地域、専門職と住民、介護と医療をつなぐ架け橋の一員として、その人らしい暮らしに寄り添える支援を続けてまいりたいと思います。



すぱっと・らいと

～あなたの職場のプロフェッショナル～

通所リハではリハビリスタッフ、看護師、介護職など様々なスタッフを中心にサービスを提供しております。本コーナーでは、通所リハで活躍している様々なスタッフを紹介していきます。

今回は善常会リハビリテーション病院を力強く支えてくれているスタッフにスポットライトをあてて、言語聴覚士(ST)の成瀬碧衣さんにお話を伺いました。



言語聴覚士
成瀬 碧衣さん

善常会リハビリテーション病院

委員 STになったきっかけを教えてください。

成瀬さん 私は子どもの頃から、「その人らしさ」や「個性」を大切にし、それを守ることができることに就きたいと考えてきました。言語聴覚士(ST)は「話すこと」や「食べる」との専門職であり、これらの行為は人の個性が色濃く表れる重要な動作だと思います。特に「言葉を話すこと」は人間にしかない特別な機能であり、その力を支え、守ることに大きな意義を感じています。だからこそ、私はSTという職業を志しました。

委員 回復期リハ病棟を約3年経験した後にデイケアに異動されたとのことですが、デイケアで勤務して最初に感じたことは何ですか？

成瀬さん 回復期の頃に比べて個別リハビリの時間が短くなっているにもかかわらず、言語機能や嚥下機能の評価・訓練に加えて、居住環境や生活習慣など広範囲にわたる情報収集や支援も求められるため、とても大変に感じました。



委員 デイケアで勤務を始めて1年半が経過しましたが、現在はどう感じていますか？

成瀬さん 回復期に比べて、PT・OTと情報を共有する機会や量が増えたことで、言語機能だけでなく身体機能など、STとしての専門分野以外の知識も吸収し、実践する機会が増えてきました。その結果、ご利用者に対してSTの専門領域にとどまらず、より包括的な視点でマネジメント(リハビリテーションマネジメント)を行えるようになってきたと感じています。また、小集団での口腔体操を導入したこと、口腔・嚥下に関するご相談を受ける機会が増えました。ご利用者からは「あなたがいてくれるから安心できるわ。ありがとう」と声をかけていただくこともあり、大きな励みになっています。このような経験を通じて、介護保険分野で働くことのやりがいを日々実感しています。そして今、地域で働くSTの役割についても、少しづつ理解が深まりつつあります。

委員 印象に残ったエピソードを教えてください。

成瀬さん 嚥下障害のある方のご家族から「食事だけでなく、おやつもいろいろ味を楽しませてあげたい」と相談を受けたことがあります。それをきっかけに、ご自宅にある市販のお菓子(じゃがりこ、チョコクッキー、ちんすこう、紅いもタルトなど)を使ってペースト状に加工し、嚥下に配慮しながらも「味の楽しさ」を感じられるよう工夫しました。その過程では、仲間に試食してもらしながらアドバイスを受け、何度も試行錯誤を重ねました。入院中の食事支援では、なかなかそこまで個別に踏み込むことが難しかったため、このような取り組みは自分にとっても非常に印象に残る経験となりました。ご家族の想いに寄り添い、共に工夫する中で、支援のあり方について新たな視点を得ることができた貴重な機会でした。

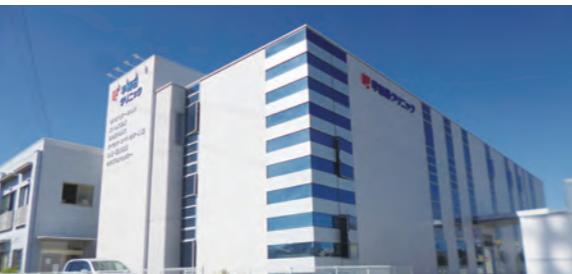
委員 最後に今後の抱負をお願いします。

成瀬さん 私は今後、「その人らしさに合わせた支援(オーダーメイドの支援)」ができるSTになりたいと考えています。ご利用者やご家族それぞれの能力・性格・価値観・生活背景を丁寧に汲み取り、画一的なリハビリではなく、「この人にはこういうアプローチが合いそう」「このご家族にはこんな関わりが安心かもしれない」と、一人ひとりのストーリーに寄り添いながら、対話を重ねて支援を組み立てていくSTでありたいと思っています。

会員施設自己紹介

医療法人 芳明会 早稲田クリニック

〒880-0933 宮崎県宮崎市大坪町西六月 2197-1



【病院案内】

内科・心療内科
脳神経内科(神経内科)
リハビリテーション科
精神科デイケア
精神科訪問看護

【関連施設】
通所リハビリテーション あくていぶ
指定居宅介護支援事業所 すずらん
訪問介護事業所 すばる
小規模多機能型居宅介護 友愛
グループホーム こんね
高齢者・障がい者向けの賃貸住宅 リハ大坪
障がい者自立支援施設 芳明館
就労支援事業所 ふれあい
特別養護老人ホーム よしみ園

沿革・施設紹介

早稲田クリニックは昭和54年開院。平成27年7月新築建て替えと同時にリハビリテーション科開設。それに伴い同年11月、通所リハビリテーションあくついぶ(以下、通リハ)を開設しました。当院外来リハビリテーションは脳血管障害や整形疾患を中心にリハビリテーションを行っており、また特徴として高次脳機能障害・パーキンソン病・脊髄損傷などの難病に対しても、より良い日常生活を送っていただくため、リハビリテーションを提供しております。なお当通リハは、当院外来リハビリテーションの流れもあり、長時間コース(6~7時間)に加えて短時間コース(1~2時間:午前の部・午後の部の2部)を設けていますが、短時間コースのご利用者様が多く、年齢層も若いです。

通所リハでの取り組み

通所リハでは
①PT・OT・STによる個別リハビリテーション
②介護職員による歩行練習
③運動マシンによる筋トレ、エルゴでの持久力向上
④テレビ体操
を主に提供しています。STによる個別リハビリテーションは、外来リハ在籍のSTが提供しますので、時間の都合上、長時間コースの方で必要性のある方にのみ提供しています。なるべく、ご利用者様に身体を動かしていただくため、コミュニケーションの一環もかねて、歩行練習はホール担当の



介護職員が実施しています。運動中心のプログラムを主としているため、男性のご利用者様が多いのも当事業所の特徴です。担当者会議は、職種別にその場で、ご質問・ご相談に対応できるように、リハビリ専門職と介護職員との2名1組で出席しています。ご利用者様の状況をしっかり把握し、より良いアドバイスが出来るように努めています。

医療との連携

ご利用者様のご希望があれば、外来受診での対応になりますが、ボツリヌス療法・嚥下機能検査を行っていますので、通リハでのリハビリテーションや食事形態に反映することができます。障害を負っても、その障害と折り合いをつけ、住み慣れた環境で長く充実した生活を送っていただけるよう、職員一同、あらゆるお手伝いをさせていただいている。

地域とのつながり

関連施設に特別養護老人ホームよしみ園があります。令和4年11月から、月に1回訪問し、生活機能向上連携加算の加算算定に協力させていただいている。施設ケアマネにリハ専門職と介護職員の橋渡しをしていただいて、ポジショニングやリハビリプログラムのアドバイスを行います。必要があれば、電話でも相談を受け付けていますし、状態確認やプログラムの変更を行います。通リハのご利用者様が特別養護老人ホームよしみ園に入所される場合もあり、通リハ利用が中止になった後も関わりが持てることは、私たち職員にとっても嬉しいことです。来年度、よしみ園併設のデイサービスも、特別養護老人ホームと同様の協力が出来るよう準備中です。通リハが他事業所との連携を深めていくような取り組みをすることで、地域の方々が住み慣れた場所で健やかに安心して暮らしていくことを願いながら日々努めています。



本コーナーにて「ぜひ私の施設を紹介したい！」という会員様は、事務局までご連絡をください。



Japan Association for Day Care



<https://www.facebook.com/daycare.jp/>

一般社団法人 全国デイ・ケア協会

当会の前身である、全国老人デイ・ケア連絡協議会は1994（平成6）年、老健のデイケアや病院・診療所のデイケア等、全国様々あるデイケアを提供する施設の有志が集まり、情報の共有化・職員の研修・研鑽の機会提供等を目的として開設し、これまで活動を続けてまいりました。

現在当会は介護報酬改定における通所リハビリテーションの窓口を担い、報酬改定時においてはリハビリテーションマネジメントと通所リハビリテーションの意義を問い合わせ、加算として位置づけ、質に関わる根幹を表現してまいりました。

また、重度者に対してもより手厚いケアが提供できるサービスとして、地域でのリハビリテーション資源として重要であることを明確にしてまいりました。生活行為向上リハビリテーションの普及については特に、厚生労働省および各種団体との連携役とし、研修や企画に参画し現在に至ります。

これも一重に、会員施設の皆様から頂いた多くのご意見や、ご協力の賜物でございます。

については、今後一層地域でのデイ・ケアの役割を全うするために、協会としてより多くの「声」を賜りたく、皆様のお力を貸しください。

より一層、通所リハビリテーションが地域に必要とされ地域生活の中核を担うサービスとなるために、今後とも皆様のご協力を願い申し上げます。

会員特典

Join Us

● 当会主催研修会、研究大会を会員価格にて参加可能

- ・全国デイ・ケア研究大会、リハビリテーション・ケア合同研究大会
 - ・主催研修会
- ※オンライン開催の研修会も多数企画していきます

● 「デイケアニュース」の定期発送

- ・年2～3回発行しております。
- 各種研修会情報、協会の活動報告、トピックス、会員施設紹介などご提供しています。

● 制度関連や現場で困っていること等の問い合わせが可能

- ・原則、会員様のみご対応させていただいている。

● 会員ページの閲覧が可能

- ・各種資料のダウンロード、研究大会抄録集、当会実施アンケート結果などの閲覧が可能です。
- 今後さらなるリニューアルを検討しています。

● 会員への定期的なメール配信

- ・研修会案内
- ・制度関連情報 等

※正会員（事業所）の職員は全員上記特典の対象となります。

一般社団法人 全国デイ・ケア協会 事務局

住所：〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 一広グローバルビル5階
TEL：03（5207）2710 FAX：03（5207）2711
E-mail：info@day-care.jp URL：www.day-care.jp

編集後記

今年は猛暑が続く異常気象で、ご利用者様だけではなく通所リハで勤務する職員の皆様も送迎や居宅訪問など外出が多い部門のため、熱中症対策や体調管理に苦労されているのではないかでしょうか。

さて、今号におきましては6月27日～28日に開催されました第50回全国デイ・ケア研究大会in川越の報告を紹介しました。ご参加された方はもちろん、できなかった方も、次回の名古屋大会へのご参加をお待ちしています。

全国デイ・ケア協会では会員ページのリニューアルを進めています。少しでも会員の皆様の業務のお役に立てるよう、広報委員会で準備を進めてまいりました。ぜひリニューアルした会員ページを閲覧していただきご意見などお寄せいただけすると幸いです。

谷口 貴子（全国デイ・ケア協会 広報委員会）
西宮協立デイケアセンターほほえみ